

米Pica8、OpenFlow1.2に対応したPicOS1.6をリリース

2013年01月10日（木）

報道関係各位

米Pica8、OpenFlow1.2に対応したPicOS1.6をリリース
エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社

OSSベースのOpenFlowコントローラとのインテグレーションノウハウを「SDNリファレンス・アーキテクチャ」として提供することでオープンなSDNソリューションを推進。

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 関根尚、以下 NCLC）は、NCLCが販売する米Pica8

（ピカエイト）社のOpenFlow対応スイッチ「Pronto（プロント）」シリーズの最新OSであるPicOS 1.6にて、業界に先駆けてOpenFlow1.2に対応したスイッチを、本格的に商用サポートしたことをアナウンス致します。

PicOS1.6は、OpenFlow1.2に対応してMPLSへの対応やIPv6のサポート、また、WDPによる柔軟なマッチングルールのサポートなど、従来のOpenFlow1.0対応のPicOSに比べて大きく機能拡張されています。

あわせて、Pica8社はOSSベースのOpenFlowコントローラである「Ryu」との組み合わせによるオープンなSDNリファレンス・アーキテクチャを発表しました。（*1）

具体的には、OpenFlow1.2ベースでのオープンなSDNネットワーク構築のための様々なノウハウやサンプルアプリケーションを「Open SDN Starter Kit」として提供していくことでSDN/OpenFlowによるリアルな課題解決を実現することを可能にしていきます。

NCLCはこのRyuに加え、TremaやNOXといったOSSベースのコントローラと、Pica8社のスイッチをインテグレーションすることで、SDN/OpenFlowの最大のメリットである「オープン」なSDNソリューションを提供していきます。

*1) [2012年12月10日](#) 付当社ニュースリリース「Pica8クラウド事業者を対象としたオープンなSDNリファレンス・アーキテクチャを発表」を参照願います。

<http://www.nclc.co.jp/news/2012/12/newsreleasearchitecturereference.html>

■ エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社

<http://www.nclc.co.jp/>

エヌ・シー・エル・コミュニケーション（略称NCLC）は、海外IT製品の輸入・販売・保守ならびにプロダクトインテグレーションを行うITの専門家集団です。1986年に設立し、ネットワーク、セキュリティ、ストレージ、CRMを中心として、先進的かつユニークな製品・ソリューションを拡充しており、時代の潮流を見据えて、積極的に事業領域を拡大しています。

【お問い合わせ先】

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社

基盤ソリューション事業部

TEL : 03-6229-8713

Email : doud-sales@nclc.co.jp

<http://www.nclc.co.jp/>

Generated by ふれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>